

チムニー株式会社

2009年12月期

第2四半期決算説明会資料

2009年8月5日

目次

2009年上期 業績ハイライト

第2四半期損益概要……………4	第2四半期貸借対照表概要……………7
第2四半期累計損益概要…5	第2四半期財務の状況……………8
第2四半期損益総括……………6	第2四半期キャッシュ・フロー／主要指標…9

2009年上期の実績と下期の取組み

業態別店舗数推移……………11
売上前年比……………12～13
(全店 既存店)
新業態への取組み……………14～17
(一丁目一番地 新生チムニー 池田屋はなの舞 防衛省、旭川病院)
教育への取組み……………18～20
(ドラフトマスター、さかな調理研修、採用方針)
商品力の強化の取組み…21～23
(物流の大改革、買参権の獲得)
2009年度通期定量目標……………25～27

2009年上期 業績ハイライト

2009年第2四半期損益概要

(単位:百万円、()は前年同期比)

項目	2008年第2四半期		2009年第2四半期		増減
売上高	9,456	(113.7)	9,644	(102.0)	+187
売上原価	3,394	(116.5)	3,411	(100.5)	+16
売上総利益	6,062	(112.2)	6,233	(102.8)	+171
(売上総利益率)	64.1%		64.6%		
販管費	5,299	(112.2)	5,452	(102.9)	+152
営業利益	762	(112.8)	780	(102.4)	+18
経常利益	768	(114.4)	795	(103.6)	+27
(経常利益率)	8.1%		8.3%		
当期純利益	410	(123.7)	473	(115.2)	+62

2009年第2四半期累計損益概要

(単位:百万円、()は前年同期比)

項目	2008年第2四半期累計		2009年第2四半期累計		増減
	金額	(%)	金額	(%)	
売上高	18,615	(115.2)	19,141	(102.8)	+526
売上原価	6,570	(116.2)	6,759	(102.9)	+188
売上総利益	12,045	(114.7)	12,382	(102.8)	+337
(売上総利益率)	64.7%		64.7%		
販管費	10,451	(116.0)	10,802	(103.4)	+350
営業利益	1,593	(106.6)	1,580	(99.2)	△13
経常利益	1,619	(107.9)	1,601	(98.9)	△18
(経常利益率)	8.7%		8.4%		
当期純利益	886	(112.1)	888	(100.3)	+2

2009年第2四半期累計損益総括

計画の利益の達成

営業利益 15.8億円 (計画比106.8%)

経常利益 16.0億円 (計画比108.2%)

採用募集方法の見直し、特に新卒採用の募集媒体の大幅減
勤怠管理方法(1分単位勤怠)導入によるシフト管理強化による人件費減

売上は前年比102.8%

売上前年同期比は+2.8%、

既存店前年比 94.7% (計画比 Δ 2.3%)

出店が第2四半期へずれた影響 (第1四半期計画6店、第2四半期17店)
既存前年比は、1月に102.2%、2月、6月はやや苦戦(閏年等の影響)

2009年第2四半期貸借対照表概要

(単位:百万円、()は前年同期比)

項目		2008年 第2四半期末	2009年 第2四半期末	(参考) 2008年 12月期
流動資産		5,083	5,675	8,562
固定資産	有形	7,883	8,325	8,224
	無形他	5,681	6,377	5,950
総資産		18,648 (100.0)	20,378 (109.3)	22,738 (112.3)

流動負債		5,803	6,253	9,114
固定負債		3,898	3,546	3,833
負債合計		9,702 (86.4)	9,799 (101.0)	12,948 (106.8)
資本金		1,764	1,764	1,764
資本剰余金		2,079	2,079	2,079
利益剰余金		5,102	6,733	5,944
純資産		8,946 (120.5)	10,578 (118.2)	9,789 (120.5)

2009年第2四半期財務の状況

総資産前期末比△2,360百万円

固定資産 147億円（前期末比103.7%）
負債合計 97億円（前期末比75.7%）

計画通りの出店による有形固定資産、差入保証金の増加
銀行営業日の関係による現預金と買掛金、未払金の減少

純資産100億円超、利益は順調に推移

純資産前年同期比 118.2%

利益計画は順調に推移
11期連続増収、8期連続増益に向けて下期も推移

キャッシュ・フロー／主要指標

(単位: 百万円)

項目	2008年 第2四半期	2009年 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	97	△334	△431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,365	△1,517	△151
財務活動によるキャッシュ・フロー	△749	△695	53
現金及び現金同等物の増減額	△2,017	△2,547	△529
現金及び現金同等物期末残高	3,483	3,279	△203

自己資本比率の増加

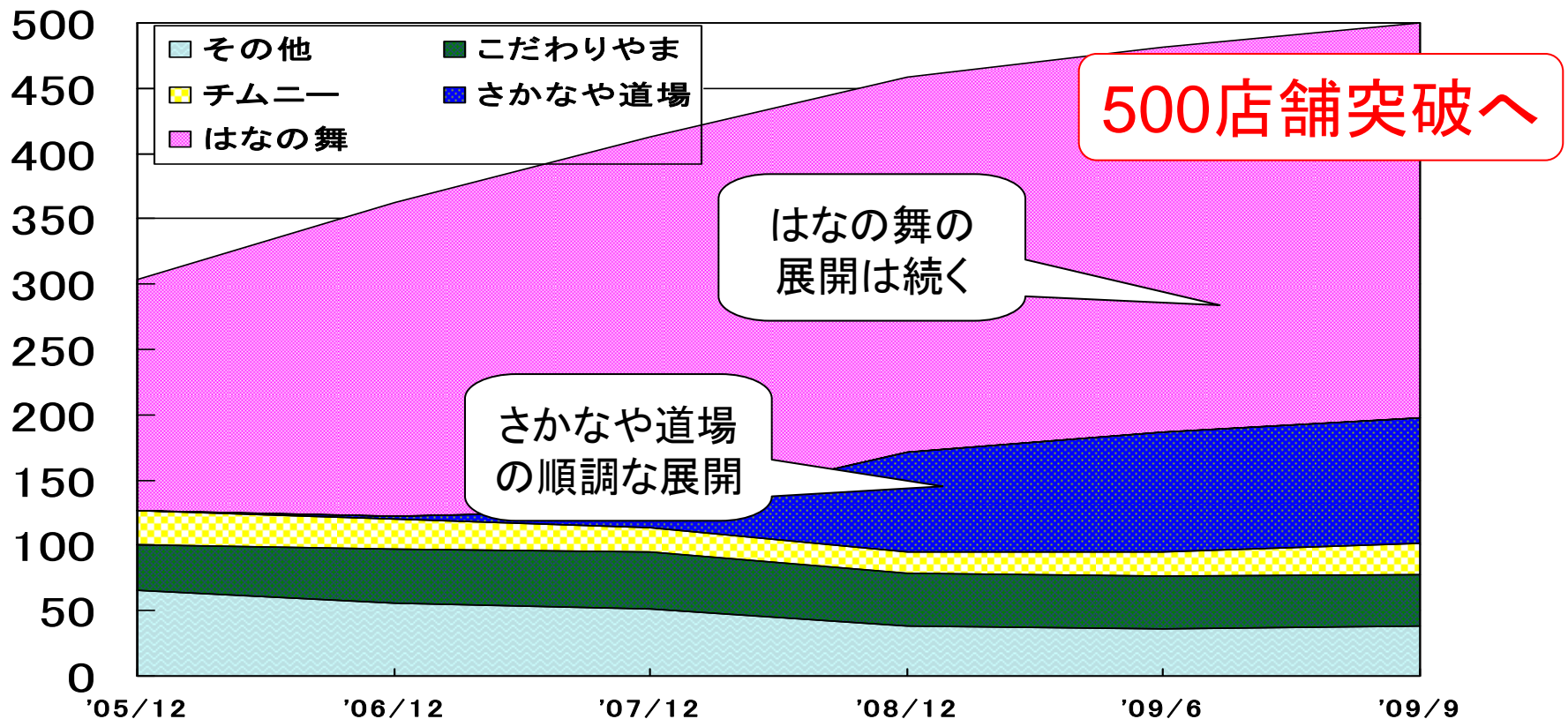
仕入債務が前期より
293百万円多く減少

項目	2008年 第2四半期	2009年 第2四半期	増減
1株当たり純資産	983.16円	1,162.49円	179.33円
1株当たり純利益	97.38円	97.66円	0.28円
自己資本比率	48.0%	51.9%	3.9%

2009年度上期実績と 下期の取組み

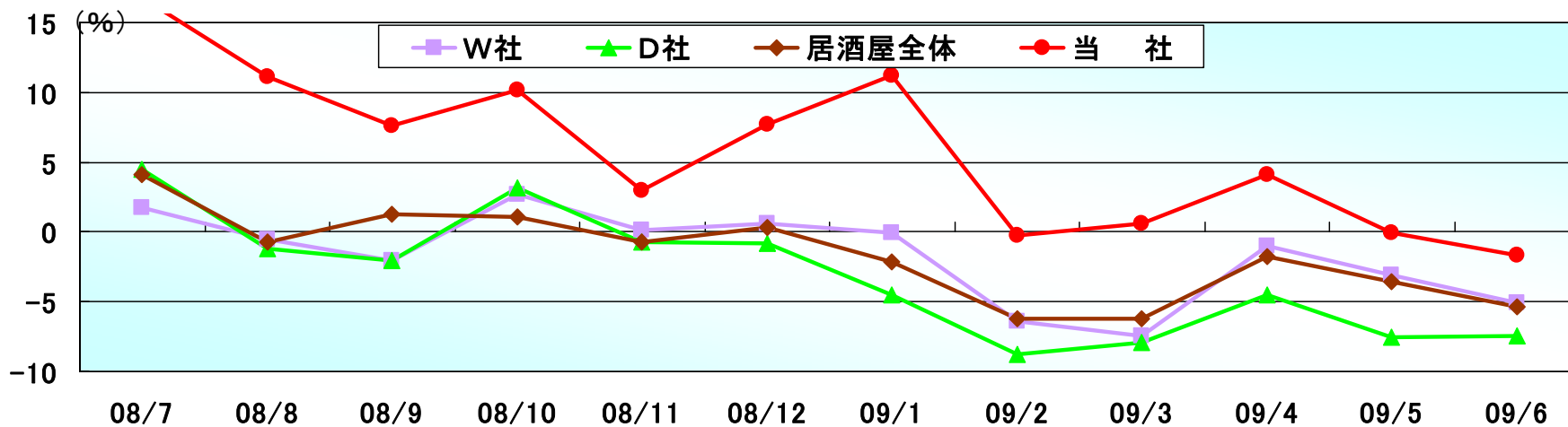
2009年度業態別店舗数推移

はなの舞・さかなや道場 主力の順調な推移



2009年全店売上前年比推移

計画通りの進捗、今後も成長継続へ



(単位: %)

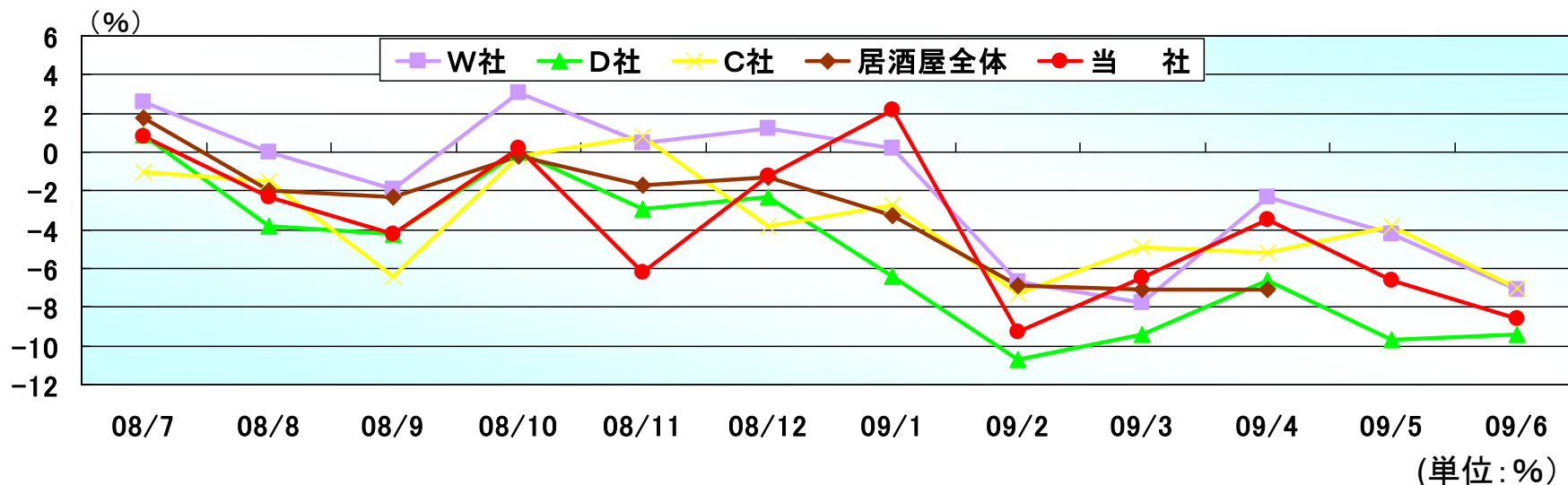
	08/7	08/8	08/9	08/10	08/11	08/12	09/1	09/2	09/3	09/4	09/5	09/6	09平均
当社	16.8	11.1	7.6	10.2	3.0	7.7	11.2	-0.2	0.6	4.1	-0.1	-1.7	2.3
W社	1.7	-0.5	-2.0	2.7	0.1	0.6	-0.1	-6.4	-7.4	-1.0	-3.1	-5.1	-3.9
D社	4.5	-1.2	-2.0	3.2	-0.7	-0.8	-4.5	-8.8	-7.9	-4.5	-7.5	-7.4	-6.8
居酒屋全体	4.1	-0.7	1.3	1.1	-0.7	0.3	-2.1	-6.2	-6.2	-1.8	-3.6	-5.4	-4.2

資料: 各社ホームページ、日本フードサービス協会

当社は計画通りの出店を継続・順調に推移

2009年既存店売上前年比推移

業界全体で苦戦、計画をやや下回る



	08/7	08/8	08/9	08/10	08/11	08/12	09/1	09/2	09/3	09/4	09/5	09/6	09平均
当社	0.8	-2.3	-4.2	0.2	-6.2	-1.2	2.2	-9.3	-6.5	-3.5	-6.6	-8.6	-5.3
W社	2.6	0.0	-1.9	3.1	0.5	1.2	0.2	-6.7	-7.8	-2.3	-4.2	-7.1	-4.7
D社	0.9	-3.8	-4.2	0.0	-2.9	-2.3	-6.4	-10.7	-9.4	-6.6	-9.7	-9.4	-8.7
C社	-1.0	-1.5	-6.4	-0.2	0.8	-3.8	-2.7	-7.3	-4.9	-5.2	-3.8	-7.0	-5.2
居酒屋全体	1.8	-2.0	-2.3	-0.2	-1.7	-1.3	-3.3	-6.9	-7.1	-7.1			

資料: 各社ホームページ、日本フードサービス協会
 2009年5月より日本フードサービス協会の既存店公表は休止されております。

既存店は厳しい状況が続く

新業態への取組み

一丁目一番地 立ち飲み業態

メニュー構成は100円から300円

メニュー数は30品目程度
月商450万円を目指す

オペレーション簡素化、独立モデル店舗へ

カウンター形式による最小2名での運営が可能
投資コストも最小限、社員独立店舗のモデル化



一丁目一番地神田駅東口店

新業態への取組み

新生チムニー 2,500円業態の見直し

チムニー業態10年ぶりの新規出店

創業時の洋風居酒屋から一新
昭和のよき時代をイメージに
お手ごろ価格でお値打ち商品を提供

単価は2,500円を想定

チムニー業態の客単価2,500円を踏襲
メニュー数ははなの舞の80%程度



チムニー志津店

やきとり、やきとん、もつ煮を中心にメニュー構成

やきとり商材の改良、より安くよりおいしく
メニューのプライスゾーンは120円から480円



チムニーグランドメニュー

新業態への取組み

京都池田屋店の出店 イベント重視店舗

京都池田屋跡地に大型店出店

150坪近い大型店舗(平均は88坪)の出店
1名様から30名様くらいまでお席をご用意

モチーフは幕末

映画で有名な大階段を設置
ポスターや衣装も幕末をイメージ

オリジナルメニューも用意

京都ならではのメニュー、オリジナル宴会コースもご用意
団体様も楽しめるお食事を準備



池田屋はなの舞店



新業態への取組み

防衛省・旭川病院への出店 食事中心業態へ

ランチメニュー中心の業態への進出

昼間の食事中心の営業形態
単価、メニューはお客様の声を反映

今後の展開

規模、場所等を勘案して、各官公庁の
施設へ進出を計画

ランチ用食材仕入等の体制を整備

ランチ対応食材の仕入強化



はなの舞防衛省本省店



花つつじ旭川赤十字病院店

教育への取組み

ドラフトマスター(ビールの注ぎ方講習)

日本一おいしいビールを提供するために

ビールは注ぎ方で全く味が変わる
→全員がその認識を共有

店舗社員の取得を義務化

店舗社員全員が取得できる計画を実施
新入社員も研修で取得
お客様に最高の
状態での提供の
おいしいビールが
飲める居酒屋
日本一を目指す



教育への取組み

さかな調理の実践講習

日本一「さかな」を売る居酒屋への教育

昨年に設立したすし居酒屋を進化させ
魚の調理研修場として新たに稼動開始

社員全員の技術力アップへ

全員が、海鮮食材を理解できる体制の構築
お客様に十分な満足を与えられる料理の提供へ



教育への取組み

採用の全面見直し 人物重視へ

入社希望者の目標を重視

高い目標、志を持った人財の採用を強化
3段階面接制度による、フォロー体制を構築

独立希望者への強力なフォローアップ

独立希望者コース(3年、5年)を新設
社員独立を協力をサポート、当年度5名の独立

入社後のフォロー体制も強化

目標へのプランの相談、適所への配置
社内の人財活性化を同時に図る

商品力の強化の取組み

物流大改革の実施

物流の集約と「さかな」の物流構築

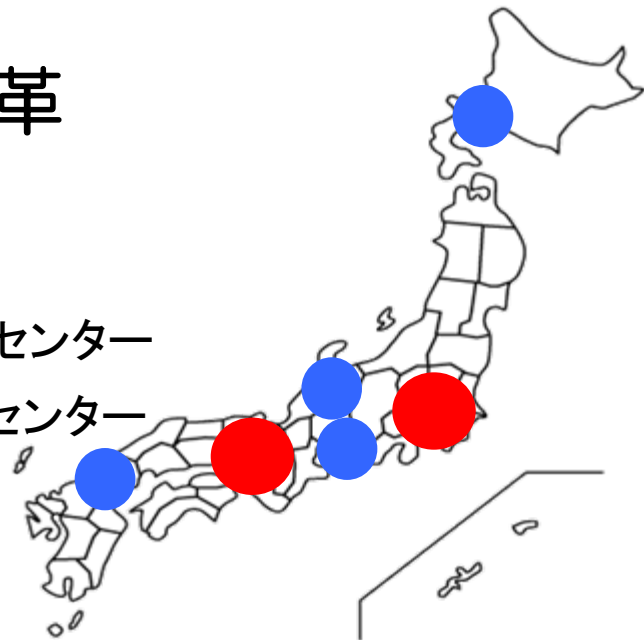
関東・関西にDCセンター、全国4箇所にTCセンター設立
地方から関東、関西に帰り便で漁港からさかなの配送

物流センター構想

1,000店舗体制に向けた大改革

センター集約による効率的な配送の確立
地域区分による1,000店舗配送体制の構築

- DCセンター
- TCセンター



商品力の強化の取組み

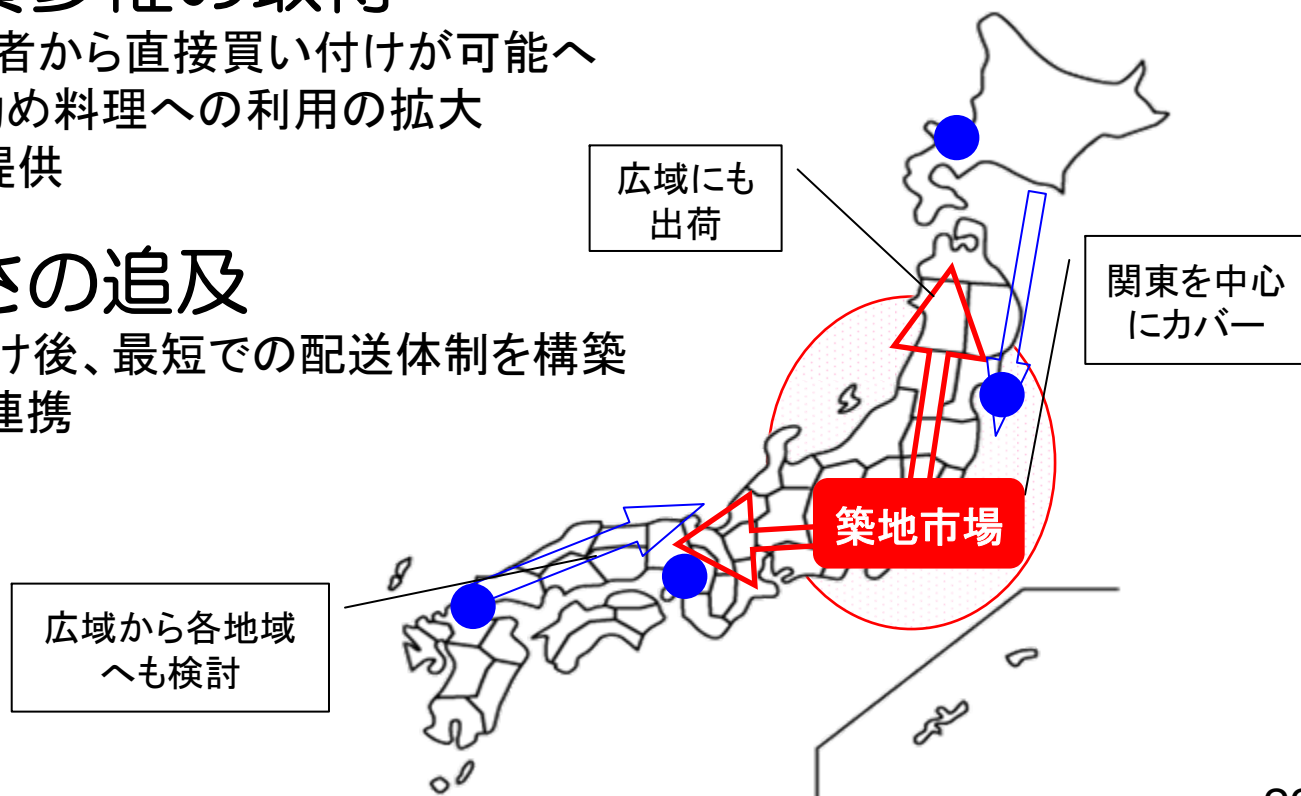
買参権の獲得 日本一さかなを売る居酒屋へ

築地市場の買参権の取得

築地市場卸売業者から直接買い付けが可能へ
豊富な魚種・お勧め料理への利用の拡大
ランチ食材への提供

食材の新鮮さの追及

築地市場買い付け後、最短での配送体制を構築
物流大改革との連携



商品力の強化の取組み

チムニーファーム構想 安全・安心な食材提供

安全・安心食材の供給

生産者がわかる、農産物・海産物の確保へ
生産者と、当社のメニュー戦略をコラボレーションできる仕組みへ

魚港の市場での購入を実施

北海道・宮城・広島・福岡で、港に向いて
市場からの買い付けを実施
同地域での店舗に即時配送・地産地消の推進



2009年度通期 定量目標

2009年度通期目標数値

(単位:百万円)

項目	2008年12月期	2009年12月期	対前年増減率
売上高	38,698	40,500	4.7%
営業利益	3,365	3,550	5.5%
経常利益	3,402	3,550	4.3%
純利益	1,809	1,870	3.3%
1株当たり 配当金	20円 (内記念2円)	20円	—

第3次3カ年計画 目標数値

11期連続増収、8期連続増益へ

(単位:百万円、売上高の()は対前年比、他の()は売上比)

項目	2008年12月期(実績)		2009年12月期(計画)		2010年12月期(計画)	
売上高	38,698	(12.4)	40,500	(4.7)	42,500	(4.9)
(グループ 売上高)	59,500	(16.2)	63,320	(6.4)	66,500	(5.0)
営業利益	3,365	(13.7)	3,550	(5.5)	3,750	(5.6)
経常利益	3,402	(12.9)	3,550	(4.3)	3,750	(5.6)
当期純利益	1,809	(16.3)	1,870	(3.3)	1,975	(5.6)

3カ年計画 目標数値

(単位:店) ()内は前期末比 2009年6月は前期末比)

項目	2008年 12月期(実績)	2009年 6月(実績)	2009年 12月期(計画)	2010年 12月期(計画)
期末店舗数	459 (+46)	481 (+22)	500 (+41)	540 (+40)
(直営店)	226 (+15)	232 (+6)	242 (+16)	257 (+15)
(FC店)	233 (+31)	249 (+16)	258 (+25)	283 (+25)
新規出店数	63	27	60	60
(直営店)	55	23	50	50
(FC店)	8	4	10	10

ほぼ計画通りの
推移で進行中

店舗数には海外を含んでおりません。

通期の
計画変更なし

最後に

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点(平成21年8月5日現在)において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内の判断に基づくものであります。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してのご判断は、くれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわない様に、お願い申し上げます。

チムニー株式会社
取締役常務執行役員管理本部長
山口 実